
世界 YWCA 会長 ミラ・リゼックより、「希望」のメッセージ



世界 YWCA 会長 ミラ・リゼック

この悲惨な状況のただ中であって、またコロナウィルス(COVID19)の脅威が加速する状況下において、私たちは、自分の生活・人生の中の良いものを思い返すことを求められ、また「希望を生きし続ける」よう問われています。多くの人命が失われている中ですが、私は皆さまに、前向きなことすべてに心を向けるよう呼びかけます。第一に、各加盟 YWCA、その会員・ご家族、それぞれの YWCA が支えているコミュニティが安全な状態にあって、この状況に対処できていることを願っております。これがとても精神的負担の大きい状況であることを、私たちは認識する必要があります。そして、今かつてなく求められているのは、お互いをケアすること、連絡を取り合うこと、お互いを精神的にサポートすること、そして、正義と平和を推し進める世界を再建するためにアクションを起こすことです。

この深刻な状況の中でも、前向きなものも得られるはずだと信じています。少なくとも、このウィルスは、地球規模のさまざまなシステムの不公正な構造をあからさまにし、また、危機的状況がいかに政治家によって、また政治システムの推進のために悪用されるかを再び明らかにしました。このことを踏まえて、地球規模の構造を変えていくために若い女性のリーダーシップを支えるという私たちの目標は、今まで以上に大きな意味を持ちます。私たちが、女性たちの社会運動として政府への働きかけやその他の手法を通じて、経済開発戦略を再考し、より人間開発に注力するよう政府に「強いる」可能性の窓が開きつつあると想像しはじめ、または望みを持つことはできるでしょうか？すべての人に開かれ、正義と人権の枠組みを尊重した新たな経済的・政治的システムの萌芽を望み始めることはできるでしょうか？「最も強い国、最も強い経済圏」とされた国々でさえ、このパンデミックに効果的に対処することはできませんでした。その理由は単純に、医療と教育を投資の優先順位の最下層に置いていたからであり、その上、各国の政治的システムが相変わらず、自らの経済的・政治的権力を追求する利益団体によって形作られているからです。地球の資源のあまりに多くが、世界人口のごく一部によって掌握され、悲しいことに、これらの裕福な国々の国家予算の多くが、武器産業その他、利益を第一目的とする破壊的な産業のために動いてきました。そのために、COVID-19 のような危機的状況が持ち上がった時、これらの国々の政府は、準備体制がない、対応能力がない、動きが取れないという状況になっていました。

この危機から私たちが学んだ最大の教訓は、私たち全員が、人間として平等だということです。裕福であろうが貧困であろうが、黒人であろうが白人であろうが、男性であろうが女性であろうが、住んでいるのが南であろうが北であろうが、都市部であろうが農村部であろうが、クリスチャン、ムスリム、仏教徒、その他どのような信仰を持っていようが、このウィルスはこれらの地理的・民族的・宗教的・社会的・経済的障壁のすべてを超えて等しく私たち全員を襲いました。皮肉にも、このウィルスは私たちを差別せず、逆に私たちを一つにしています。この状況が終結した先には、今回の教訓と価値観を私たちが忘れず、コミュニティの本当のニーズに応えるため力を合わせ

せられるようになることを望みます。私たちが、地球資源と環境を無尽蔵なものだと思い込んで大規模に乱用してきたことを思い起こす必要があります。人間として、私たちには慈しみが足りませんでした。このことが変わっていくよう願っています。

封鎖・包囲・外国による占領・植民地政策・居留地・難民キャンプなどに何年も暮らし続け、人権や生活必需品・基本的ニーズを得られないでいる何百万人もの人たちを、私たちは忘れ去っていました。この経験は、私たちが造りたい世界、これからの世代のために確保したい未来がどんなものかを、深く思いめぐらす手がかりになるでしょう。この世界には、私たちがたたかうべき不正義やあらゆる形の抑圧に満ちていることを、改めて想起させられています。自由、正義、人権保護のための私たちの取り組みは地球的なものであるべきで、人種差別に対する私たちのたたかいは力を合わせたものになるべきです。

YWCA 運動につながる、さらに広きにわたる姉妹の皆さま、この機会を借りて、皆さまの安全と健康をお祈りします。この危機が訪れる前の状況に戻ることはできないでしょう、だからこそ、この世界をより良いものにするために共に働きましょう。私たちがそうあるべき、変革の担い手になりましょう。

この機会を借りて、女性たちの運動として、私たちがお互いを支えるためにここにいること、共に動き、私たちが最も必要としているコミュニティのために動くべきであること、必要なところに支援の手を差し伸べられるよう準備するよう求められていることを、私たちが想起するよう呼びかけたいと思います。私たちは想像力を発揮し、どのように連帯し、支援を提供できるよう備えることができるか、考える必要があります。パンデミックが終息すれば、再建の次期が訪れるでしょう。私たちの力を合わせた努力によって、私たちの運動が、特に若い女性たちが、そのときに意思決定のテーブルにつき、私たちが見たい世界をつくりあげるプロセスに活発に関わっていけるようにしましょう。

世界 YWCA のケイシー・ハーデン総幹事、ならびにジュネーブの事務所のすべてのスタッフは、自宅で勤務を続け、この重大な局面において最大限の助言と支援を提供するよう尽力しています。私たちの運動は、多くの困難な時期を乗り越えてきました。私たちは、必要とされたときにいつもそこにいると、常に証明してきました。ですから、皆さまのアイデアや提言を歓迎し、精神と心を開いて耳を傾け、行動を起こしたいと思います。

あなたに力、粘り強さ、再生、回復がもたらされるよう祈ります。

世界 YWCA 会長 ミラ・リゼック